

Title	大正十一年度 古蹟調査報告第一冊；李王職藏書閣 古圖書目録, 李王職庶務課；神祇辭典, 山川鶴市著
Sub Title	
Author	武田, 勝藏(Takeda, Katsuzo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1924
Jtitle	史学 Vol.3, No.3 (1924. 9) ,p.117(460)- 117(460)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19240900-0117">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19240900-0117</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

書評

大正十一年度 古蹟調査報告第一冊(朝鮮總督府)

本書は朝鮮總督府古蹟調査委員藤田亮策、同囑托梅原末治、同小泉顯夫の三君の大正十一年五月十九日より六月一日に至る十四日間に行ひたる慶尙南道及び忠清南道に於ける古蹟調査の中、慶尙南道金海郡金海貝塚、同梁山郡梁山貝塚の發掘調査、慶尙北道慶州附近の寺址並に有史以前遺跡の調査、漆谷郡若木面及び忠清南道扶餘郡扶餘附近の遺跡の略調査に關する報告書の印行せられたるものである。(大正十三年三月)

本文は(一)金海貝塚(二)梁山貝塚(三)慶州發見の石器と古墳出土の異形陶質器四五(四)四天王寺址(五)望德寺址(六)皇龍寺址及昌林寺址(七)若木の古墳郡(八)扶餘發見の遺物の二三にて、又圖版は數十圖あつて何れも甚だ鮮明である。本書の價値は改めて記す迄も無い。最後に本調査に従事せられたる三君の勞に對して敬意を表し、又常に本會にかく有益の書籍を寄贈せらる、朝鮮總督府博物館に深く謝意を表す。

(大正十三年五月 武田勝藏)

李王職藏書閣 古圖書目錄(李王職庶務課)

本書は大正十二年十二月現在の李王家藏書閣尙藏朝鮮本古圖書

書評

の目錄にして、分類は經史子集の四部に大別し、是を更に類によつて細別してある。體裁は一圖書名一部數一冊數一版種一著作者の時代並に姓名一出版時代一備考の五段に分けられてある。殊に版種に於ては木活、木、活、石、寫等を明記し、又編著者に於ては其の名、字、號を問はず普通に行はる、稱呼を記してある。

猶近き内に同閣所藏の日本版及び支那版の古圖書目錄も亦續刊せらる、この事であるが一日も早く公にせられむ事を切に希望する。(大正十三、八、廿三 武田勝藏)

神祇辭典(山川鶴市著 平凡社發行)

先年來神社並に其祭神に關する諸書が公にせらる、は誠に敬賀すべきであるが、不幸にして未だ神祇祭祀神道等に關する辭典の類は公にせられなかつた。然る處官幣大社廣瀨神社の宮司山川鶴市氏は神明奉仕の傍、十數年來これ等の書の編纂に従事し、今回神祇辭典なる一書を刊行せられた。最近に神祇院の設置を見んとし、世人の神社に關して注目する秋にあつて、かく有益の書を公にせられたる著者に對しては滿腔の敬意を表し、且つ讀者の座右に備ふべき良好の著書として推賞する。本書は五十音順に排列し、終に「内容索引」「字畫索引」を附してある。

(大正十三年五月卅日 武田勝藏)

(四六〇) 一一七